

## 職業をもつ母親の養育行動と幼児の 生活習慣に関する実態調査

— 規則的な生活習慣に焦点を当てて —

堀 妙子<sup>1)</sup>, 奈良間美保<sup>1)</sup>

### 〔論文要旨〕

職業をもつ母親が行う規則的な生活習慣に関わる養育と幼児の規則的な生活習慣の実態を明らかにすることを目的に、職業をもち保育園通園中の幼児の母親88名に質問紙調査を行った。その結果、職業をもつ母親の80%以上は規則的な生活習慣に関わる養育を行っていた。この養育の実施率は自営業と常勤の母親で高く、パートタイムの母親は低かった。幼児の規則的な生活習慣で、朝決まった時間に排便をする幼児は6歳でも20%であった。また母親が規則的な食事・睡眠・清潔に関わる養育を行っている場合は、規則的な生活習慣を確立している幼児の割合が多くなる傾向が見られた。母親への育児支援では、母親の就業形態も考慮する必要性が示唆された。

**Key words** : 養育行動, 働く母親, 就業形態, 規則的生活習慣, 幼児

### I. はじめに

幼児期は様々な環境から基本的な生活習慣を身につけていく時期であるといわれている<sup>1)</sup>。またこの時期の家族を中心とした生活環境は、幼児の生活習慣形成に重要な働きをしているとも述べられている<sup>2)</sup>。近年女性の労働人口増加ともない、職業をもつ母親も増加しているが、このような母親は時間的制約や仕事によるストレスも加わり、非常に困難な状況におかれていることが予測される。さらに母親の就業が幼児の食事時間や登園、帰宅時間などの家庭での生活リズムに影響を及ぼしていることも明らかにされている<sup>3)</sup>。幼児が規則正しい生活を送ることは、幼児の生活習慣の確立に影響している事が予測される。また先行研究<sup>4)</sup>によれば、就業形態により母親の子どもに接する態度が違くと

もいわれている。しかし職業を持つ母親の就業形態による実際的な養育行動に関する調査はあまり見られない。そこで職業をもつ母親が幼児に対して行う規則的な生活習慣に関する養育行動と幼児の規則的な生活習慣の実態を明らかにし、職業をもつ母親に対する育児支援を検討することを目的として本研究を行った。

### II. 研究方法

#### 1. 対象

対象は、東海地区H市内の保育園に通園する1歳から6歳までの幼児の母親で、職業をもっている母親とした。

#### 2. 方法

質問紙による調査研究を行った。調査内容は、母親が行う幼児の規則的な生活習慣に関する養

A Study of the Child Parenting Behaviors of Working Mothers with Preschool Children in Relation to the Regular Habits of Daily Life.

Taeko HORI, Miho NARAMA,

1) 浜松医科大学医学部看護学科 (看護婦)

別刷請求先: 堀妙子 浜松医科大学医学部看護学科 〒431-3192 静岡県浜松市半田山1-20-1

Tel & Fax 053-435-2821

[1266]

受付 00.10.19

採用 02.1.15

育行動(以下規則的養育とする)と、幼児の規則的な生活習慣、家族背景であった。母親が行う規則的養育に関しては、幼児の生活時間に影響すると考えられる養育行動を中心に自作の質問項目を作成した。排泄・食事・睡眠・清潔に関する計5項目の質問にそれぞれ「全くその通り」4点から「全く違う」1点の4段階での回答を求めた。また幼児の規則的な生活習慣については先行研究<sup>5)</sup>を参考に、幼児の排泄・食事・睡眠・清潔の実態に関する計7項目の調査項目を作成し、それぞれ「はい」、「いいえ」で回答を求めた。また、関連する項目として起床時間・就寝時間を調査した。さらに家族背景として、年齢・家族構成・職業などに関する項目を加えた。

保育園に対し調査の目的を説明し、保育士に母親への調査の説明と参加への同意の確認、質問紙の配布を依頼した。無記名回答とし保育園で質問紙を回収した。質問紙は母親135名に配布し回収率は75.4%であった。母親が職業をもっていない場合を除いた有効回答は88名であった。分析はSPSSを用いカイ2乗検定を行った。

母親の規則的養育と幼児の規則的な生活習慣の関係性では、規則的養育で項目間の相関係数が低い項目を除いた4項目の合計を総得点として用いた。項目間の相関係数は0.38から0.54であり、 $\alpha$ 係数0.79であった。

### Ⅲ. 結 果

#### 1. 対象の概要

調査対象となった幼児は88名で、性別は男児51名(58.0%)、女児37名(42.0%)であった。幼児の年齢構成は1歳10名(11.4%)、2歳15名(17.0%)、3歳17名(19.3%)、4歳18名(20.5%)、5歳18名(20.5%)、6歳10名(11.4%)、平均年齢3.6歳(SD:1.5)であった。母親の年齢は24歳から43歳で平均年齢は32.2歳(SD:4.7)であった。

母親の職業は常勤53名(60.2%)、パートタイム27名(30.7%)、自営業8名(9.1%)であった。同胞がいる幼児は56名(63.6%)、いない幼児が32名(36.4%)、家族構成は核家族72名(81.8%)、拡大家族16名(18.2%)であった。

#### 2. 母親が行う規則的養育について

規則的養育の中で、最も多くの母親が「全くその通り」又は「その通り」と回答していた項目は、「毎日決まった時間にお風呂に入れている」でそれぞれ19名(21.6%)、63名(71.6%)であった。それに続き「毎日決まった時間に寝床に連れていく」がそれぞれ19名(21.6%)、57名(64.8%)となった。「全くその通り」又は「その通り」と回答した母親が最も少なかった項目は「できるだけ規則的に排尿や排便をさせている」でそれぞれ10名(11.4%)、23名(26.1%)であった(表1)。

表1 母親が行っている規則的養育

母親の規則的養育	回 答			
	全くその通り	その通り	違 う	全く違う
毎日決まった時間にお風呂に入れている	19名 (21.6%)	63名 (71.6%)	6名 (6.8%)	0名 (0.0%)
毎日決まった時間に寝床につれていく	19名 (21.6%)	57名 (64.8%)	12名 (13.6%)	0名 (0.0%)
毎日決まった時間に食事を食べさせている (無回答 2名)	19名 (21.6%)	54名 (61.4%)	13名 (14.8%)	0名 (0.0%)
毎日決まった時間に起こしている (無回答 1名)	18名 (20.5%)	54名 (61.4%)	14名 (15.9%)	1名 (1.1%)
できるだけ規則的に排尿や排便をさせている (無回答 7名)	10名 (11.4%)	23名 (26.1%)	42名 (47.7%)	6名 (6.8%)

n=88

